

 評価のポイント

CL-Ⅲ. 看護実践能力：ケアする力

[21-3] 小児救急診療における急急的疾患・症状への対処

① 講義の中から、あなたがこれまでに経験したことのない急急的疾患を一つ選んでください

問①：次の中から一つを選択されていけばよい

精巣捻転、卵巣捻転、そけいヘルニア、腸重積症、心筋炎、細菌性髄膜炎、アナフィラキシーなど

② その疾患の危険性、および、対応のポイントを整理してください

選択した疾患のそれぞれに危険性と対応のポイントがある。スライド8～13を参考に整理されているとよい。

<出題意図>

嘔吐は日頃から目にする多くの症状であるが、その中には『見逃してはならない急急的疾患』が隠れている可能性もある。

課題を通して講義内容を振り返り、いざという時に『重要な徴候（サイン）』を想起できることが、臨床実践の知につながります